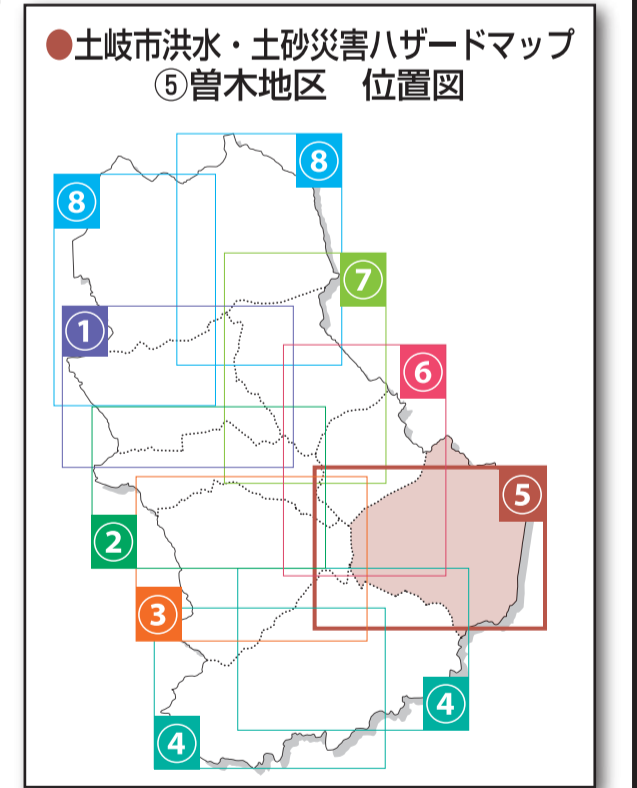
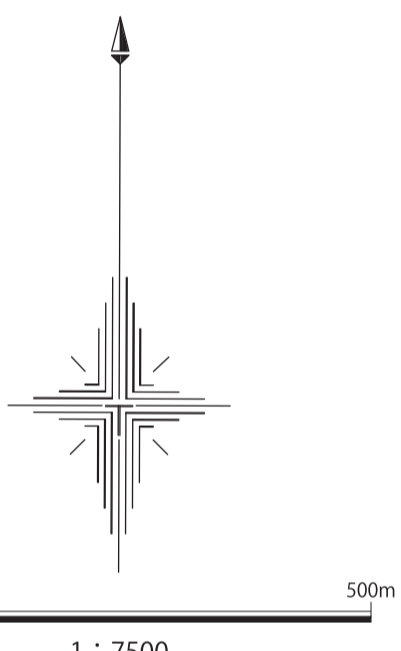
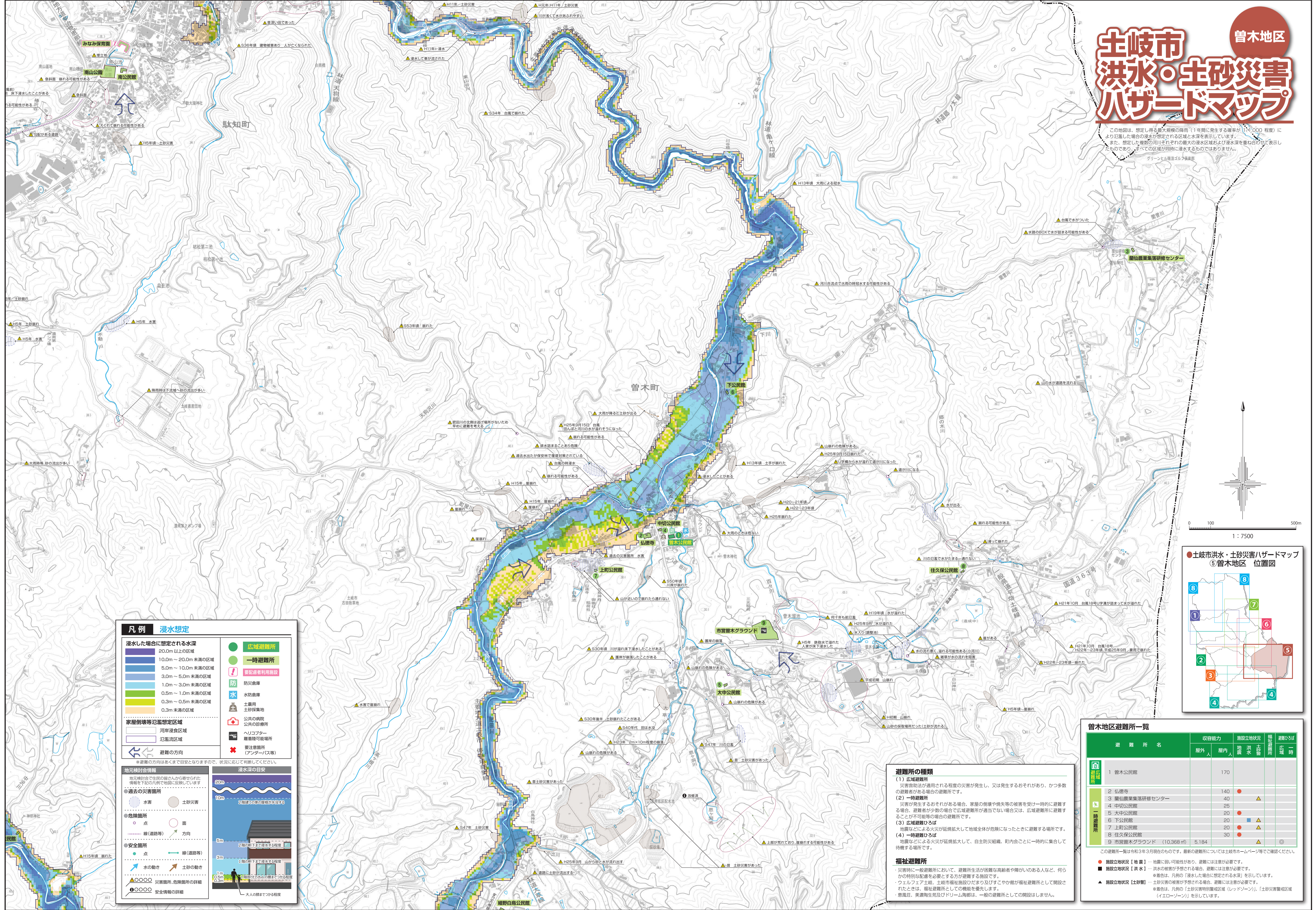


土岐市 洪水・土砂災害 ハザードマップ

曾木地区

この地図は、想定し得る最大規模の降雨（1年間に発生する確率が1/1000程度）により発生した場合の浸水が想定される区域と水深を表示しています。また、想定した複数の河川それぞれの最大の浸水区域および浸水深を重ね合わせて表示したものであり、すべての区域が同時に浸水するものではありません。



凡例 浸水想定

浸水した場合に想定される水深

- 20.0m以上の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸浸食区域
- 氾濫流域

避難の方向

※避難の方向はあくまで目安となりますので、状況に応じて判断してください。

地元検討会情報

地元検討会で住民の皆さんから寄せられた情報を下記の凡例で地図に反映しています。

過去の災害箇所

- 水害
- 土砂災害

危険箇所

- 崖
- 線(道路等)
- 方向

安全箇所

- 点
- 線(道路等)

避難の方向

- 水の動き
- 土砂の動き

安全情報の詳細

- 災害箇所、危険箇所の詳細
- 安全情報の詳細

浸水深の目安

20m

10m

6m

3m

1m

0.5m

0.3m

大人の膝までの高さ

避難所の種類

(1) 広域避難所
災害救助法が適用される程度の災害が発生し、又は発生するおそれがあり、かつ多数の避難者がある場合の避難所です。

(2) 一時避難所
災害が発生するおそれがある場合、家屋の倒壊や焼失等の被害を受け一時的に避難する場合、避難者が少数の場合で広域避難所が適当でない場合又は、広域避難所に避難することが不可能等の場合の避難所です。

(3) 広域避難所
地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所です。

(4) 一時避難所
地震などによる火災が延焼拡大して、自主防災組織、町内会ごとで一時的に集合して待機する場所です。

福祉避難所

災害時に一般避難所において、避難所生活が困難な高齢者や障がいのある人など、何らかの特別な配慮を必要とする方が避難する施設です。

- 福祉施設、土岐市福祉施設ひだまり及びすこやか館が福祉避難所として開設されたときは、福祉避難所としての機能を優先します。
- 児童館、児童遊園及びファミリー館は、一般の避難所としての開設はしません。

曾木地区避難所一覧

避難所名	収容能力		施設立地状況	福祉避難所	避難のりば
	屋外	屋内			
1 曾木公民館		170			
2 仏徳寺		140			
3 曾木農業集落研修センター		40	●	▲	
4 中公民館		25			
5 大公民館		20	●		
6 下公民館		20	●	▲	
7 上野公民館		20	●	▲	
8 住久保公民館		30	●		
9 市営曾木グラウンド (10,388㎡)	5,184		●	▲	◎

この避難所一覧は令和3年3月現在のものです。最新の避難所については土岐市ホームページ等でご確認ください。

- 施設立地状況【地震】…地震に弱い可能性があり、避難には注意が必要です。
- 施設立地状況【洪水】…洪水の被害が予想される場合、避難には注意が必要です。
- ▲ 施設立地状況【土砂】…土砂災害の被害が予想される場合、避難には注意が必要です。
- ◎ 避難所、凡例の「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」【土砂災害警戒区域(イエローゾーン)】を示しています。